

地震災害に備え協力体制を強化

平成22年度市6・12総合防災訓練

昭和53年の宮城県沖地震発生を教訓とする県民防災の日に合わせて6月13日、南方町鴻ノ木地内ジャスコ南方店跡地で市6・12総合防災訓練が実施されました。

この訓練は、市内防災関係機関と地域住民の連携・協力体制の強化や、市民の防災意識を高めることを目的として開催されたもので、会場には市消防団南方支団、防災関係機関、応援協定締結企業など

から19機関約600人が参加してさまざまな訓練が行われました。

訓練は、午前8時30分に宮城県沖を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、市内で震度6弱前後の揺れを観測したとの想定で行われ、地震の発生を告げる防災行政無線を合図に、倒壊した建物から負傷者を救出する訓練や、土砂に埋もれた車内から負傷者を救出する訓練、転

倒したホームタンクからの油の流出・拡散を防ぐ油流出防止訓練など20種類もの訓練が実施されました。

また、南方町の自主防災組織の皆さんが中心となつての緊急道路確保訓練や、消火器やパケツを使った初期消火訓練なども行われ、参加者の皆さんは、本番さながらの訓練を通して、災害に備えることの大切さを実感した一日となりました。



住民が協力して負傷者へ応急処置（応急救護訓練）



力を合わせ緊急用の道路を確保（緊急道路確保訓練）



消火器を使っていち早く消火（初期消火訓練）

市内各地の民俗芸能が集結

第6回登米市民俗芸能大会

市内に伝わる民俗芸能の伝承活動を行っている19団体が一堂に集い、民俗芸能を披露する「第6回登米市民俗芸能大会」が、下記により開催されます。神楽やお囃子など、各団体が伝承している素晴らしい各民俗芸能が披露されますので、市民の皆さんのご来場をお待ちしています。

【日時】 7月18日(日) 午前9時30分から午後4時まで

【場所】 豊里公民館中ホール

【出演団体】▶浅部法印神楽 ▶館神楽 ▶加賀野神楽
▶小島願人踊 ▶巻おいとこ踊 ▶佐沼鹿踊 ▶大網おいとこ踊
▶森邑おいとこ踊 ▶岡谷地南部神楽 ▶とよま囃子 ▶細野神楽
▶嵯峨立神楽 ▶飯土井神楽 ▶嵯峨立甚句 ▶上町法印神楽
▶赤谷神楽 ▶長下田神楽 ▶芦倉獅子舞 ▶畑岡神楽

【入場料】 1,000円(登米祝祭劇場で販売)

【問い合わせ】 市教育委員会生涯学習課 ☎0220(34)2698
登米市民俗芸能協会事務局(千葉) ☎0220(34)6748



昨年の大会の様子【上町法印神楽】

新処理施設の完成を祝う

広域4事業最後の施設「登米市衛生センター」完成

施設の老朽化や処理水質の向上のため、平成19年度から建設を行っていた「登米市衛生センター」が完成し、5月27日に落成式が行われました。開式に先立ち、関係機関の代表者によるテープカットが



「市民に親しまれる施設へ」と代表者がテープカット

行われ、皆でセンターの完成を祝いました。

式には市や地域の関係者など約70人が参加。開式後、市長は「登米市衛生センターは、課題であった広域4事業の一つとして取り組んできました。今後し尿・汚泥処理施設の拠点として円滑・効率的な運営を目指していきます」と式辞を述べました。

センターは、環境省と農林水産省の補助を利用し、国内初の両省共同事業として整備されたもので、今年3月に完成し2月から稼働をしています。搬入されたし尿や農業集落排水汚泥は生物処理や凝集分離、オゾン酸化などの高度処理により浄化し、発生する汚泥は炭化肥料として再生することができま

す。また、センターおよび炭化肥料の愛称を昨年市民の皆さんから募集した結果、市民の皆さんに親しみやすいものとして「エコランドとめ」、「タンピ（炭肥）くん」と決定されました。

今回のセンター完成によって、登米市合併の契機となった広域4事業「火葬場」「汚泥再生共同処理施設」「養護老人ホーム」「消防防災センター」の整備が終了しました。

豊かな自然と野球文化の発展を 市民参加の新たな森林づくり&みやぎバットの森

「市民参加の新たな森林づくり」および「みやぎバットの森植林祭」が5月22日、津山町横山大萱沢地内の市有林で行われました。

今回の植樹は、プロ野球の「東北楽天ゴールデンイーグルス」誕生を機に、野球文化とみどりの文化の発展を願う「みやぎバットの森」事業と、大切な森林を次世代に残すため、市が毎年行っている

「市民参加の新たな森林づくり」との共催で行われました。植樹したのは、バットの材料となるアオダモなど広葉樹の苗木約750本。開会式では市長が「植樹した小さな苗木は、何十年もかけて大きくなり、心を込めて植樹した木の姿をまた見にきてください」とあいさつしました。

植樹には、市内外から多くの応募があり、一般住民のほか、市内のスポーツ少年団や

ジュニアスクールのコーチなどの楽天関係者など、約250人が参加しました。当日は快晴の夏日となり、参加者は汗だくになりながらも、山肌一本一本丁寧に植樹していました。

また、植樹祭終了後には、楽天イーグルス主催の野球教室も開催され、子どもたちは打撃や守備についてのアドバイスに、熱心に耳を傾けていました。



植樹を記念して宮城県からバットが贈呈されました



楽天関係者と一緒にアオダモを植樹



植樹に参加した皆さんで記念撮影